



新社会党東京都本部委員長

江原ひであきアピール 2006.9

江原ひであき事務所

中野区南台 2-32-1 電話 (03) 3381-7656 FAX (03) 3383-8535

ホームページ <http://www7.ebara.or.jp/ebara-hideaki/>

Eメール hide-eba@cameo.plala.or.jp

戦前への逆戻りを阻止しよう

歴史を逆転させる小泉・安倍。

私は小泉首相に対して(8/19HP)戦後最大の犯罪人と書いた。理由を4項目あげた。偏狭なナショナリズムを煽った。識者が警鐘を！ 国の在り方を変えた。日米一体の軍事大国へ！ 憲法を踏みにじり日本社会を破壊 法秩序を無視し日本を壊す！ 言論封殺、暴力跋扈社会に 理念、倫理なき弱肉強食社会に！ である。

少々、やり過ぎたかな？との思いもないでもなかったが、9月3日の東京の社説を読んで書いておいてよかったと思う。社説は次のように書いている、「国の指導者に不可欠な条件は教養と知性、それらを磨くための学習意欲と能力。政治家に必要な教養の第一は歴史に対する認識である」と。

そして、政治家、石橋湛山氏が残した文章の一節を紹介している。こうだ！ 「少なくとも満州事変以来、軍、官、民の指導的地位にあった者は重罪人だ。然るにそれらの者が依然として政府の要職にあり、あるいは官民の指導者顔で平然としているのは許しがたい」と。

昔は、その後首相になった人がこのように堂々と戦犯を糾弾したのだ。

それに比して最近の政情はどうだ。ちなみに、小泉の後、間もなく首相になると言われている安倍晋三は戦犯、岸信介の孫だ。そして、その安倍晋三は「美しい国、日本。」を創るといって、「教育基本法」を変え、「憲法」を変える、と公約した。自民党の7～8割が支持するという。

後述するが、いま、日本は歴史の歯車を逆転させようとしている。

安倍構想(美しい国)は神道帝国日本。

間もなく始まる臨時国会で日本の「国の形」を変えようとする超右翼的政権が樹立されそうです。安倍晋三は総裁選公約で安倍政権は、「教育基本法」「改憲手続法」「海外派兵恒久法」「共謀罪法」「防衛省設置法」などの成立を目指す、としている。

これら政権公約からも明らかなように、この安倍内閣は大きな2つの特徴を持っています。第1は、憲法を変え戦争ができる国をめざす。第2は日米軍事同盟を強化して軍事大国化を計り、世界の覇権をめざす。ことが明白だ。

そのために、教育基本法を変え、日本人の価値観を変え人間改造をしようとしているのだ。逆らう者は共謀罪で取り締まる！。

このことは、大戦後の人間社会にあって“非戦非武装の平和憲法の下で戦争をしない国”として世界に発信してきた日本という“国の在り方が180度転換”されるということである。

これまでも日本支配層は悪辣な階級的支配の強化と解釈改憲を続けてきたが、今回の安倍内閣の政権構想は「国の在りよう」(日本人の価値観と日本の針路)を根本的に変えることを真正面に掲げたのである。まさに「戦前回帰の神道帝国日本」をめざす保守本流の本性をむき出しにしてきたのだ。

21世紀の人間社会にあってこのような日本の針路を許すことはできません。いまこそ日本とアジアと世界の真の平和を希求する全ての人たちが総決起しなければなりません。

誰でも何かができます！一人ひとりが創意工夫して、「戦争をする国」への道を阻止しよう。

2006年9月6日
新社会党：江原ひであき